

一般社団法人山形県臨床検査技師会

第50回定期総会

日 時：令和5年6月3日（土）14：00～

場 所：山形ビッグウイング（山形市）

受付開始 14：00

定期総会 14：15

顕彰式典 15：15

公開講演 16：00

「科学的根拠に基づいた食情報データを活用した疾病予防」

山形県立保健医療大学 保健医療学部

教授 石川 仁 先生

総会次第

1. 司会者挨拶
2. 開会挨拶
3. 議長選出
4. 議長挨拶
5. 総会役員任命
6. 会長挨拶
7. 資格審査
8. 議 事

承認事項

- | | |
|------|---------------|
| 認第1号 | 令和4年度事業報告 |
| 認第2号 | 令和4年度会計決算報告 |
| 認第3号 | 令和4年度特別会計決算報告 |
| 認第4号 | 令和4年度監査報告 |

議 事

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和5年度一般社団法人山形県臨床検査技師会事業計画（案） |
| 第2号議案 | 令和5年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案） |
| 第3号議案 | 令和5・6年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員推薦委員改選（案） |
| 第4号議案 | その他 |

9. 議長解任
10. 閉会挨拶

顕彰式典

令和5年度一般社団法人山形県臨床検査技師会表彰

功劳賞

工藤	紀子	山形県立中央病院
細谷	栄一	東北中央病院
沼澤	ひろみ	山形県立新庄病院
阿部	等身	鶴岡地区医師会荘内地区健康管理センター
鈴木	真里子	鶴岡協立病院
佐藤	秀二	丸岡医院
市川	真由美	公立置賜総合病院

奨励賞

阿部	光展	山形県立中央病院
竹田	光	山形県立中央病院

永年職務精励者表彰

田村	安	鶴岡地区医師会荘内地区健康管理センター
和根崎	真美	やまがた健康推進機構 庄内検診センター
諸橋	八千雄	日本海総合病院
高橋	圭子	日本海総合病院
細矢	正人	米沢市立病院
佐藤	あや子	自宅会員

令和4年度一般経過報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。そのような状況下(一社)山形県臨床検査技師会は理事役員改選の年でしたが、感染拡大に最大限留意しながら精力的に活動を行うことができました。これもひとえに会員の皆様のご理解、ご協力と理事・監事一人一人の責任ある行動の賜物です。関係各位に改めて感謝申し上げます。

振り返りますと第41回山形県医学検査学会を10月22日(土)長井タスパークホテルにて加藤裕之副会長を中心に置賜地区担当で開催しました。11月26日(土)(一社)山形県臨床検査技師会創立70周年記念式典を天童ホテルで挙行了しました。歴代の会長諸氏からご祝辞を頂戴し激励を受け、顧問である山形市立病院済生館の五十嵐雅彦先生から生活習慣病に関する記念講演をいただき、参加者全員で80周年、90周年と山臨技の益々の発展を祈念し声高らかに万歳三唱で幕を閉じ、盛会裏に終了することができました。

12月3日(土)検査と健康展を村山地区役員を中心にイオンモール天童で、12月4日(日)精度管理報告会をビックウィングを会場にすべて対面形式で行うことができました。山臨技活動の根幹である学術活動においては、各部門ともWebまたはハイブリッド研修会が多かった印象ですが、Web研修会ならではの利点もわかってきました。今後は少額参加費の納入方法、オンデマンド配信での講師の著作権や承諾等諸課題も見えてきました。

また、日臨技主催の研修会になりますが山臨技が担当で第2回タスクシフトシェアに関する厚労省指定講習会も9月開催予定が、新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から年明け2月に延期し無事終了することができました。現在まで、のべ100名程度の講習会修了者を輩出し会員全員の講習会修了を目指します。修了して終わりではなく医師の働き方改革(時間外労働の縮減)が令和6年度から適用される前に我々臨床検査技師が実現場でタスクシフトに関するアクションを起こし拡大することが肝要になります(施設の諸事情もあります)。

以下に各部、各地区、各委員会、各学術部門の活動報告が掲載されています。ご確認の上ご承諾いただきますようお願いいたします。

庶務部

1. 定期総会

1) 第49回定期総会開催

令和4年6月18日(土) グランドエル・サン(鶴岡市)

公開講演

「庄内地域におけるCOVID-19への対応について ～みんなで頑張る地域連携～」

講師：鶴岡市立庄内病院 消化器科

医長 宮澤 弘哲 先生

2. 理事会の開催

理事会については、以下のごとく5回開催した。

- | | | |
|-----------|-----------------|--------------|
| 1) 第1回理事会 | 令和4年 4月 20日(水) | 天童ホテル |
| 2) 第2回理事会 | 令和4年 5月 18日(土) | WEB開催 |
| 3) 第3回理事会 | 令和4年 8月 23日(火) | 天童グランドホテル舞鶴荘 |
| 4) 第4回理事会 | 令和4年 11月 17日(火) | WEB開催 |
| 5) 第5回理事会 | 令和5年 3月 23日(木) | WEB開催 |

業務執行理事会については、3回開催した。

- | | | |
|---------------|----------------|--------|
| 1) 第1回業務執行理事会 | 令和4年 4月 14日(木) | 山臨技事務所 |
| 2) 第2回業務執行理事会 | 令和4年 8月 2日(火) | 山臨技事務所 |
| 3) 第3回業務執行理事会 | 令和5年 2月 14日(火) | 山臨技事務所 |

3. 日臨技(北日本支部含)、日臨技連盟関連会議

- 1) 令和4年度日臨技総会 令和4年6月25日(土) ステーションコンファレンス川崎
植木会長出席

2) 令和4年度日臨技理事会

- 第1回 令和4年 4月 23日(土) WEB 居鶴前会長出席
- 第2回 令和4年 6月 25日(土) ステーションコンファレンス川崎
- 第3回 令和4年 7月 23日(土) ステーションコンファレンス川崎
- 第4回 令和4年 9月 24日(土) ステーションコンファレンス東京
- 第5回 令和4年 11月 23日(土) ステーションコンファレンス川崎
- 第6回 令和5年 1月 21日(土) ステーションコンファレンス東京
- 第7回 令和5年 3月 25日(土) ステーションコンファレンス川崎
植木会長出席 ※前々日に事前レクチャーWEB会議あり

3) 令和4年度北日本支部幹事会

- 第1回 令和4年 11月 11日(金) 北日本支部代表者会議
- 第2回 令和5年 2月 4日(土) 北日本支部幹事会
植木会長出席

4. 山形県、山形市など関係会議

1) 山形県腎等臓器移推進機構植評議員会議

令和4年6月 書面決済 植木会長評決

2) 山形県精度管理専門委員会

令和5年2月14日(火) 登録衛生検査所立入検査 置賜地区1施設

令和5年2月17日(金) 登録衛生検査所立入検査 庄内地区2施設

佐藤直仁学術部長、武田和子専門委員 出席

3) 山形市精度管理専門委員会

令和5年2月2日(木) 登録衛生検査所立入検査 山形市1施設

植木会長、長岡純二専門委員

4) 山形県生活習慣病検診等管理指導協議会

消化器(胃がん・大腸がん)部会

令和5年3月3日(金) WEB会議 森谷美香委員出席

婦人科(子宮がん)部会

令和5年3月10日(金) WEB会議 渡邊いづみ委員出席

肺がん部会

令和5年3月6日(月) WEB会議 鈴木俊市委員出席

5. 表彰

1) 第49回山臨技定期総会(鶴岡市)にて表彰

特別功労賞

居鶴 一彦 山形市立病院済生館

功労賞

長岡 純二 山形市立病院済生館

志田 浩二 山形市医師会検診センター

工藤 祐一 済生会山形済生病院

岩崎 啓子 公立高島病院

亀井 誠 庄内地区健康管理センター

邊見 眞子 山形県最上総合支庁保健福祉環境部 最上保健所

永年職務精励者表彰

大道寺 妙 白鷹町立病院

三上 淳一 やまがた健康推進機構 最上検診センター

2) 令和4年度保険衛生関係功労者山形県知事表彰

加藤 裕之 白鷹町立病院

6. 山臨技ニュースの発行

- 令和4年7月 瑞宝双光章受章について
令和4年11月 第41回山形県医学検査学会表彰、山臨技創立70周年記念式典について
令和4年12月 全国検査と健康展、山臨技精度管理報告会・県学会表彰式について
令和5年1月 山形県知事表彰、会員手続きについて
令和5年3月 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会実技講習会について

会 計 部

1. 法人会計として、複式簿記による帳簿整理を行った。
2. 研修会及び会議の参加旅費、各事業への活動費等を予算どおりに執行した。

学 術 部

1. 第41回山形県医学検査学会

日 時 令和4年10月22日(土)

場 所 長井市 「長井タスパークホテル」、Zoom配信、オンデマンド配信

テーマ 『明るい明日へ、ひたむきな歩み』

内 容 教育講演 「新型コロナウイルスの遺伝子検査を読み解く」

講師 山形県衛生研究所微生物部 専門研究員 駒林 賢一 先生

ランチョンセミナー 4社

企業PR 3社

一般演題 22題

○学会学術賞 「タスク・シフト/シェアにおける臨床検査業務拡大への期待

～クライオアブレーション～」

日本海総合病院 遠田 有希 技師

○若人奨励賞 「EDTA依存性偽性血小板減少症におけるEDTA過剰法の検討」

山形大学医学部附属病院 松田 未羽 技師

2. 部門長・分野長合同会議

日 時 令和4年5月28日(土)

場 所 山形ビッグウイング中会議室

協議議題 令和4年度学術部活動計画について

令和4年度部門別活動予算配分について

活動費の管理・会計について

研修会の持ち方について

精度管理・データ標準化委員会の取り組みについて

公益事業協力について

生涯教育研修制度について

3. 学術部会議

学術部員のグループメール等で情報共有し連携を図った。

4. 部門別検査分野事業報告

各部門とも部門長・分野長を中心に、会議アプリなどを利用した積極的かつ思考を凝らした研修会を開催した。今年度は現地開催をする部門があり、対面での研修会が復活し始めてきた。全研修会参加人数は、のべ313名であった。各部門の研修会詳細は後掲載につき参照していただきたい。

5. 学術部主催研修会

令和4年度の学術部研修会は、コロナの収束がまだ得られていないこととインフルエンザの流行もあり各部門・分野の研修会、タスク・シフト/シェア研修会を優先したため実施しなかった。

企 画 部

1. 全国「検査と健康展」の開催

日 時：令和4年12月3日(土)

場 所：イオンモール天童

内 容：心電計のデモ波形を用い、心筋梗塞や不整脈の心電図の説明、顕微鏡標本の説明、骨密度測定と結果説明、認知症チェック「物忘れ相談プログラム」、尿試験紙の使用法の説明、新型コロナウイルス抗原キットの使用法説明、臨床検査技師の仕事を紹介するDVDの映写、パネル展示など。

来場者数：約30名

実務委員数：26名

2. その他、関連団体への助成

「山形医学検査」編集委員会

1. 「山形医学検査」の発行

1) VOL. 31 No. 2 令和4年8月31日発行(会員名簿との合冊として)

2) VOL. 31 No. 3 令和4年10月7日発行

(山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書の合冊として)

3) VOL. 32 No. 1 令和5年2月28日発行

2. 編集委員会の開催

令和4年度第1回編集委員会

日 時：令和4年7月15日 18時00分～

場 所：山形県立中央病院 1階 生理検査室

内 容 : VOL.31 No.2 の編集作業、企画

3. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行った。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加者登録を行った。
 - 1) 行事登録 : 合計 17 件 (基礎教科 : 4 件、専門教科 : 13 件)
 - 2) 参加者登録 : 合計 867 名 (基礎教科 : 251 名、専門教科 : 616 名)
 - 3) 自己申告による参加登録件数 : 0 件
2. 日臨技推進研修会の申告並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行った。
申告 : 11 件

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、コロナ禍での開催であったが有意義なコントロール・サーベイが実施できた。染色体・遺伝子部門では新型コロナウイルス遺伝子のサーベイを行った。実施項目については回答、入力、解析、評価、施設別報告書の開示を日臨技精度管理システム (JAMTQC) で行った。山形医学検査 (精度管理報告書号) を第 41 回山形県医学検査学会講演抄録集と合冊で発刊した。精度管理報告会ではコロナ禍で感染管理下での開催であったが多くの参加者を得ることができた。主な事業は以下の通りである。

令和 4 年 5 月 13 日	コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り
令和 4 年 7 月 10 日	コントロール・サーベイ試料発送作業 フォトサーベイ CD 発送作業 サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間 7 月 11 日から 7 月 22 日)
令和 4 年 7 月 23 日～	サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む)
令和 4 年 10 月	コントロール・サーベイ施設別報告書 (総括・統計) JAMTQC 上で開示 精度管理報告書発行
令和 4 年 12 月 12 日	精度管理報告会開催 於 : 山形国際交流プラザ 大会議室 (137 名参加)
令和 5 年 2 月 28 日	令和 5 年度 JAMTQC 使用申請
令和 5 年 3 月 20 日	日臨技受理・登録・継承作業完了
令和 5 年 4 月	令和 5 年度コントロール・サーベイ参加申し込み案内

2. データ標準化事業
主な事業はなかった。

ホームページ委員会

1. 技師会主催研修会、各種団体研修会の情報提供を行った。
2. 各地区施設の採用情報提供を行った。
3. 山臨技ニュースや山形医学検査を掲載し、山臨技の情報発信を行った。
4. 県学会のアーカイブ配信や日臨技からのホームページ掲載依頼に対応した。

令和4年度学術部部門別検査分野活動報告

生 物 化 学 分 析 部 門

部門長(兼)臨床化学分析分野長 佐藤 大 亮
免疫検査分野長 大 場 知 世

1. 生物化学分析部門研修会 (日臨技北日本支部研修会を担当県として開催)

日 時 : 令和5年1月21日(土)～令和5年2月18日(土)

会 場 : 日臨技会員専用サイトでの Web 開催

テーマ : 「やればできる～精度管理と病態把握の二刀流～」

内 容 :

メーカー講演 1 「異常発見マスターへの道～タイムコースと

ピットホール事例について学ぼう～」

講師：積水メディカル株式会社 野上 里恵 先生

メーカー講演 2 「臨床検査と精度管理—臨床検査値がもつ意味」

講師：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 石原 典明 先生

メーカー講演 3 「CKD・AKI 診療におけるバイオマーカー」

講師：アボットジャパン合同会社 師田 かおり 先生

教育講演 「施設での精度管理の運用の紹介」

(1) 講師：国立病院機構仙台医療センター 播磨 晋太郎 技師

(2) 講師：山形大学医学部附属病院 佐藤 大亮 技師

特別講演 「医療現場におけるコミュニケーションスタイルのあり方」

講師：JCHO 仙台病院 五十嵐 康宏 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 132 名

受講者 賛助会員 0 名

受講者 その他 0 名

講師	6名
実務委員	3名

2. 山臨技臨床化学分析分野・免疫検査分野のコントロールサーベイ

臨床化学 28 項目について 7 月に実施した。参加施設は 61 施設で、回答率 100%であった。集計並びに解析結果は、12 月 4 日（日）の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

部門会議：必要時にメールや電話で連絡を取り合った。

臨 床 生 理 機 能 部 門

部門長(兼) 超音波分野長	風 間 知 之
循環・呼吸生理分野長	岸 洋 介
神経生理分野長	樋 口 智 子

1. 生理機能検査部門研修会

日 時：令和 5 年 2 月 4 日（土）

会 場：Zoom による Web 開催

内 容：講演 1. 「てんかんの脳波所見は発作時と発作間欠期とでは異なる」

広南病院脳神経内科/仙台神経生理ラボ 大沼 歩 先生

講演 2. 「ST 上昇型心筋梗塞と ST 上昇する疾患の心電図に強くなる」

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 新井 陸 先生

特別企画「生理機能検査におけるキャリアデザインを考える」

～認定資格取得者から学ぶその極意～

keynote lecture：山形県内の現状

山臨技臨床生理機能部門 部門長 風間 知之 先生

講演 1. 「日本臨床検査技師会認定心電技師」取得の極意

健康推進機構山形検診センター 臨床検査係 和地 香奈江 先生

講演 2. 「日本臨床神経生理学会認定専門技術師」取得の極意

山形県立河北病院 検査部 赤塚 れい子 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	56名
受講者 賛助会員	0名
受講者 その他	0名
講 師	5名
実務委員	9名

2. 山臨技サーベイの実施

循環・呼吸生理分野では心電図検査サーベイ、超音波分野では腹部・心臓・血管領域の超音波検査サーベイ、神経生理分野では脳波検査サーベイによる精度管理を行った。令和4年12月4日（日）の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第1回部門会議：令和4年6月13日（金）ZoomによるWeb開催

4. その他、技師会共催学術事業

・Meet the Expert On the Web in 山形

～心エコー基礎編・エキスパートから学ぼう～

日時：令和4年7月9日（土）

場所：山形テルサ（ZoomによるWeb配信）

・山形心エコーセミナー

日時：令和5年2月7日（火）

場所：山形国際ホテル（Microsoft Teamsを用いたハイブリッド開催）

病 理 細 胞 部 門

部門長 鈴木俊市

細胞検査分野長 菊地功祐

病理検査分野長 阿部光展

1. 病理細胞部門研修会(染色体遺伝子部門と合同)

日 時：令和4年11月3日(木)

会 場：山形県立中央病院講堂

内 容：病理と遺伝子検査

特別講演 「病理診断と遺伝子検査」

山形大学医学部病理診断学講座 樺澤崇允 先生

教育講演1 「がんゲノムプロファイリング検査と肺癌マルチコンパニオン検査について」

株式会社シスメックス LS 市場開発部エリアマーケティング課 黒山滉平 先生

教育講演2 「遺伝子診療・ゲノム診療に関するガイドラインへの対応について」

サーモフィッシュヤーダイアグノスティックス株式会社

AMS/MAS テクニカル&マーケティングチーム 岩村千絵 先生

令和4年度山形県臨床検査技師会病理部門フォトサーベイ解説

病理組織分野 山形県立中央病院 阿部光展 技師

細胞検査分野 東北中央病院 菊地功祐 技師

令和4年度病理部門独自サーベイ（病理組織・細胞）報告・講評

鶴岡市立荘内病院病理科 鈴木俊市 技師

研修会参加者

受講者 一般会員	30名
受講者 賛助会員	0名
受講者 その他	0名
講師	3名
実務委員	9名

2. 山臨技サーベイの実施

病理検査分野、細胞検査分野ともに JAMTQC を利用したフォトサーベイを施行した。また独自サーベイとして、組織染色サーベイ細胞診スクリーニングサーベイを行った。いずれも部門研修会で詳しい報告を行った他、令和4年12月4日の山臨技精度管理報告会においても報告・講評がなされた。

3. 部門会議の開催

第1回部門会議：令和4年6月17日 会議アプリ ZOOM（部門員）

第2回部門会議：令和4年11月3日 山形県立中央病院講堂

4. その他、技師会共催学術事業

（子宮の日）子宮頸がん検診啓発活動（日本臨床細胞学会山形県支部との共催）

令和4年度も昨年度に引き続きコロナ禍のため街頭活動はせず、県内の大学等に子宮がん検診啓発のパンフレットなどを送付した。

日本臨床細胞学会山形県支部総会・学術集会（日本臨床細胞学会山形県支部との共催）

日 時：令和4年11月12日（土）

場 所：会議アプリ ZOOM

臨 床 一 般 部 門

臨床一般部門長 森 谷 美 香

1. 一般部門研修会の開催（大腸がん検診従事者講習会）

日 時：令和5年2月5日（日）

会 場：Web 開催（会議アプリ ZOOM）

内 容：

会員発表

演題名『尿一般分析装置更新を契機とした尿沈渣報告時間短縮への取り組み』

演 者 公立置賜総合病院 菅原 杏香 技師

メーカー講演

『そこが知りたい！便潜血検査-これまでの検査状況と最近の話題について-』

講 師 栄研化学株式会社 マーケティング一部三課 阿部 雅仁 氏

メーカー講演

『改めて学ぶ 尿定性検査の基礎とピットフォール』

講 師 アークレイマーケティング株式会社 学術推進チーム 柴崎 涼 氏

講演

『上皮細胞と円柱の基本 ～鑑別の言語化と類似成分との比較～』

講 師 仙台市立病院 臨床検査科 白井 竜二 技師

研修会参加者

受講者 一般会員	29名
受講者 賛助会員	1名
受講者 その他	0名
講 師	3名
実務委員	5名

2. 山臨技サーベイの実施

尿沈渣成分フォトサーベイ、便潜血検査サーベイ及びアンケート調査を行い、12月4日（日）精度管理報告会にて報告を行った。

3. 部門会議の開催

第1回部門会議：令和5年2月5日（日）Web開催（会議アプリ ZOOMにて）

4. その他、技師会共催学術事業

開催なし

臨 床 血 液 部 門

臨床血液部門長 結 城 智 嗣

1. 臨床血液部門第1回研修会

日 時 : 令和5年1月14日（土）

会 場 : 山形大学 医学交流会館

内 容 : 学会レビュー

演題1「当院で経験した脾辺縁帯リンパ腫（SMZL）の1例」

山形県立中央病院 検査部

竹田 光 技師

演題2「凝固因子活性測定の希釈確認試験：Factor Parallelism Test（FPT）の
基礎的検討」

山形大学医学部附属病院 検査部

叶内 和範 技師

特別講演「血液疾患の最近の話題」

山形大学大学院医学系研究科 血液・細胞治療内科学講座

教授 石澤 賢一 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	20名
受講者 賛助会員	0名
受講者 その他	0名
講師	3名
実務委員	6名

2. 臨床血液部門第2回研修会

日時：令和5年2月11日（土）

会場：Web開催（会議アプリ ZOOM）

内容：日本検査血液学会東北支部合同企画

「日頃の血液検査業務の悩みをみんなで考える

ーディスカッションで最適解を探ろうー」

司会 山形大学医学部附属病院 検査部

佐藤 牧子 技師

教育講演「自施設でできる凝固線溶異常データの対処法」

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 副技師長 下村 大樹 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	16名
受講者 賛助会員	1名
受講者 その他	0名
講師	1名
実務委員	2名

3. 山臨技サーベイの実施

CBC（6項目）サーベイおよびフォトサーベイを7月に実施した。フォトサーベイは、評価対象10問、評価対象外1問を実施し出題した。12月に精度管理報告会にて報告を行い、その報告書を山形医学検査に投稿した。

4. 部門会議の開催

第1回：令和5年1月14日（土）

その他、必要時にメール等で連絡を取り合った。

5. その他、技師会共催学術事業

第 35 回 山形造血管器疾患研究会

日時：令和 4 年 7 月 2 日（土）

場所：ホテルメトロポリタン山形（ハイブリッド開催）

臨床微生物部門

臨床微生物部門長 鈴木 裕

1. 臨床微生物部門研修会

日 時：令和 4 年 11 月 26 日（土）

会 場：山形県立中央病院 2 階講堂

内 容：情報提供 I 「CLSI M100-ED32 ドキュメントの主な変更点について」

ベックマン・コールター株式会社 高相 道忠 先生

情報提供 II 「微生物同定分析装置 VITEK MS PRIME 情報提供」

「微生物検査の精度管理について」

バイオメリュー・ジャパン株式会社 忍田 寛 先生

見付 聡 先生

教育講演「遺伝子分析科学認定士試験のすゝめ

—検査のピットフォールも含めて—

山形県立中央病院 検査部 茜谷 大輔 技師

特別講演「気楽に学ぼう！抗菌薬の使い方と選び方」

山形県立中央病院 薬剤部 主任薬剤師 大熊 良和 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 28 名

受講者 賛助会員 7 名

受講者 非会員 0 名

講 師 4 名

実務委員 7 名

2. 山臨技サーベイの実施

試料 1 では菌の同定、試料 2 では菌の同定と感受性試験について出題し、正答率は 100%であった。フォトサーベイは 5 題出題し、評価対象外とした 1 問を除いて正答率は 80%以上と良好であった。左記について、令和 4 年 12 月 4 日（日）に開催された精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

令和 4 年 6 月 29 日（金）（会議アプリ ZOOM）

輸血細胞治療部門

輸血細胞治療部門長 加藤美加

1. 輸血細胞治療部門研修会

日時：令和4年12月18日(日)

会場：Web研修会(会議アプリ ZOOM で山形県立中央病院会議室より配信)

テーマ：検査結果から考えられること

内容：11/27 に、問題用紙、解答用紙、試料6本を参加申込者に発送した。自施設で実習し、解答用紙を12/9(金)までに返送してもらった。12/18(日)に会議アプリ Zoom で Web 研修会を実施した。実技研修会、Web 研修会とも参加確認できた参加者に、模範解答と参加修了証明書を発送した。

①実技研修会(11/28~12/9)

- ・検体Ⅰ(試料①②) - ABO・RhD 血液型、不規則抗体スクリーニングおよび同定、結果の解釈、適合血の選択
- ・検体Ⅱ(試料③④⑤⑥) - 凝集判定
- ・机上問題 - 消去法、不規則抗体陽性で交差適合試験不適合時の異型適合血選択

②Web 研修会

(12/18)

- ・実技実習会(実技と机上問題の回答・解説)
- ・アンケートの集計報告と質問に対する回答

研修会参加者

受講者	一般会員	48名
受講者	賛助会員	0名
受講者	非会員	0名
講師		0名
実務委員		5名

2. サーベイの実施

検体Ⅰ(血球①、血漿②) - ABO, RhD 血液型、不規則抗体検査

検体Ⅱ(血球③、血漿④) - ABO, RhD 血液型、不規則抗体検査、(血球⑤⑥⑦) - 交差適合試験
凝集反応の判定(血漿⑧⑨) - 凝集の強さ、抗体価測定

JAMTQC で完結できるように、可能な限り日臨技サーベイの形式に合わせて作成した。設問は、例年通り①ABO・RhD 血液型、②不規則抗体スクリーニング・抗体同定、③交差適合試験、④凝集反応の強さ・抗体価測定とした。12月の精度管理報告会で報告を行った。

3. 部門会議の開催

第1回:令和4年6月17日(金)Zoom 会議、第2回:令和4年11月27日(日)、第3回:令和5年3月3日(金)Zoom 会議

その他、部門研修会前に3回、Zoom で打ち合わせと接続確認等を行った。相談や報告事項はその都

度メールで連絡を取り合った。

4. その他

- ①山形県合同輸血療法委員会看護師部会主催山臨技輸血細胞治療部門(共催)研修会
令和5年2月13日(月) 17:30~18:30 「輸血に関するQ&A」
Web研修会(山形赤十字血液センターより配信)
- ②新規採用者実技研修会
令和4年7月23日(土) 13:30~16:30
試験管法による血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験

臨床検査総合部門

臨床検査総合部門長 諏訪しのぶ

1. 臨床検査総合部門研修会

日時 : 令和4年6月25日(金) 14時~17時30分

会場 : Web開催(会議アプリ ZOOM)

テーマ : タスクシフト・シェアに繋がって行く、技師の意識の持ち方を学ぼう!

内容 :

1. 教育講演「医療のリスクマネジメントについて改めて考えてみる」

医療法人社団 永生会永生総合研究所 神戸 翼 先生

2. 企画「危険予知トレーニングから気づく力を身につける」

山形県立新庄病院 上野 大 技師

3. グループディスカッション「事例を用いた危険予知トレーニング」

ZOOMアウトブレイクルーム機能を利用した複数グループに分かれて行うディスカッション

4. 交流会

ZOOMアウトブレイクルーム機能を利用した交流会

研修会参加者 34名(講師を含めない)

受講者 一般会員 28名

受講者 賛助会員 0名

受講者 非会員 0名

講師 2名

実務委員 6名

2. 部門会議開催

第1回 : 令和4年4月27日(水)

第2回 : 令和4年6月3日(金)

第3回：令和4年6月6日（月）

第4回：令和4年6月18日（土）

第5回：令和5年2月9日（木）

昨年度の振り返りと今年度の活動計画（第1回）、部門研修会の打合せ（第2～4回）、次年度の活動について（第5回）という目的で行った。すべてweb開催とした。

染 色 体 ・ 遺 伝 子 部 門

染色体・遺伝子部門長 大塚隼人

1. 病理細胞部門・染色体遺伝子部門合同研修会

日 時：令和4年11月3日（木）

会 場：山形県立中央病院講堂

内 容：詳細は病理細胞部門を参照

2. サーベイの実施

SARS-CoV-2 遺伝子検査サーベイを陽性2試料（中濃度及び低濃度 SARS-CoV-2 不活化ウイルス）及び陰性1試料（滅菌蒸留水）を用いて実施した。またアンケート調査も併せて実施した。参加施設は31施設で、正答率は評価対象試料については100%であった。集計並びに解析結果は、令和4年12月4日（日）の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第1回：令和4年6月14日（金）17:30～（Web会議方式）

令和4年度 三地区活動報告

村山地区

1. 地区役員会・研修会

コロナ感染症の収束がみられず、地区役員会・研修会は開催していない

2. (一社) 山形県臨床検査技師会への協力事業

「全国検査と健康展」が令和4年12月3日(土)にイオンモール天童にて開催されたため、村山地区役員・会員が実務員として協力した

庄内・最上地区

1. 地区役員会

1) 令和4年度第1回庄内最上地区役員会

令和4年4月15日(金曜日) 15:00～ Zoom 開催

- ・令和4年度 年間計画(地区研修会について)
- ・第49回定期総会(庄内最上地区担当)について
- ・表彰候補者について
- ・その他

2. 地区研修会

1) 令和4年度第1回庄内最上地区研修会

令和4年9月10日(土曜日) 14:00～ Zoom 開催

◆演題1 「最前線の超音波検査～腹部・循環器編～」

キャノンメディカルシステムズ株式会社 東北支社

超音波アプリケーション担当 西田 翼 先生

◆演題2 「タスクシフティングによる産科臨床検査技師の可能性

～胎児超音波検査の視点から～

医療法人なごみ会 産婦人科・小児科 三井病院 長澤 智子 先生

2) 令和4年度第2回庄内最上地区研修会

令和5年1月27日(金曜日) 17:45～ Zoom 開催

◆演題1 「血液ガスの基礎」

- ・酸塩基平衡について
- ・酸素化について
- ・検体の取り扱いについて

ラジオメーター株式会社 営業統括部 東日本営業部 北日本第二 主任

星 真大 先生

◆新人紹介

置賜地区

1. 地区役員会

- 1) 令和4年8月9日(火) Web開催 17:30～(6名)
 - ・県執行理事会報告
 - ・第41回山形県医学検査学会打ち合わせ
 - ・その他
- 2) 令和4年10月3日(月) タスパークホテル 18:00～(3名)
 - ・学会 3役打ち合わせ
 - ・その他
- 3) 令和4年10月19日(水) タスパークホテル 18:00～(地区幹事17名)
 - ・学会地区実行委員会として開催
 - ・学会役割分担確認
 - ・その他
- 4) 令和4年10月21日(金) タスパークホテル 18:00～(地区幹事6名)
 - ・学会会場準備及び打ち合わせ
 - ・その他

2. (一社)山形県臨床検査技師会への協力事業

第41回山形県医学検査学会が置賜地区担当となり、10月22日(土)学会運営を行った。

令和4年度会計決算報告

(収入の部)

1. 会費収入

会員会費：令和4年度に入金した会員数は643名、4,501,000円であった。

賛助会員会費：37社、74,000円であった。

2. 入会金収入

入会金：令和4年度に入金した会員数は20名、20,000円であった。

賛助会員：0名であった。

3. 事業収入

広告料：会誌広告18社で525,000円であった。

会場整理費：575,500円であった。

精度管理報告会参加費は無料であった。

精度管理事業費：精度管理参加費146,000円であった。

助成金：1,021,500円であった。

日臨技より生涯教育推進研修会助成金521,500円、全国「検査と健康展」への助成金500,000円であった。

4. 寄付金収入

寄付金はなかった。

5. 雑収入

預金利子：18円であった。

雑収入：日臨技議決権行使書回収委託費30,660円、北日本学会補助19,110円であった

6. 事務所維持、取得積立金収入：7,003,239円

7. 前期繰越収支差額

令和3年度の繰越金は2,873,603円であった。

令和4年度の収入は1～6までの合計14,582,027円に繰越金を加え、17,455,630円となった。

(支出の部)

1. 事業費

1) 衛生思想の普及及び啓発

(1) 衛生思想普及啓発事業費：3地区に70周年記念式典、タスクシフト講習会を合わせて775,868円で、村山地区0円、庄内最上地区21,597円、置賜地区12,658円、70周年記念式典629,097円、タスクシフト講習会112,516円であった。

2) 臨床検査技術を通じ、保健事業、健康維持・増進事業への協力

(1) 地域保健事業費：258,008円で、主な経費は全国検査と健康展である。

3) 臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析

(1) 精度管理事業費：1,233,816 円で、主な経費は精度管理試料代と、報告会経費である。

4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動

(1) 学術研究事業費：1,647,299 円で、主な経費は部門の研修活動費と学会費である。

(2) 生涯教育研修事業費：326 円

5) 機関誌及び会報の発行

(1) 会誌事業費：1,528,514 円で、山形医学検査の印刷費、編集委員会費用である。

6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2. 管理費

管理費は 8,630,528 円を支出した。

給与手当費：事務員賃金である。

福利厚生費：慶弔費、保険料である。

会議費：主な経費は三役会議、日臨技、北日本支部幹事会、理事会の会議関連費である。

通信費：郵送代やネット使用料である。

印刷費：主な経費は総会議案書印刷費である。

交通費：主な経費は理事会および各事業における交通費である。

顕彰費：県技師会表彰経費である。

広告宣伝費：新聞等による広告費である。

消耗品費：事務消耗品費である。

事務費：主な経費は連携強化のための PC 購入費である。

支払手数料：振込等に関わる手数料である。

ホームページ管理費：主な経費は PC に関わる事務材料費である。

雑費：会費の返金、町内会費等を支出した。

3. 事務所維持、取得積立金支出：支出はなかった。

4. 備品購入積立支出：支出はなかった。

5. 予備費：支出はなかった。

以上により支出は 14,074,359 円となった。

当期収支差額は 507,668 円となった。

昨年度の繰越金は 2,873,603 円であったため、次年度への繰越金は 3,381,271 円となる。

令和4年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会収支計算書

収入額 17,455,630 円 自 令和 4年4月 1日
 支出額 14,074,359 円 至 令和 5年3月31日
 差引額 3,381,271 円

収入 (単位:円)

科 目	4年度予算額	4年度決算額	増 減	備考
1.会費収入	5,165,000	5,241,000	76,000	
会員	4,305,000	4,501,000	196,000	643名×7,000円
賛助会員	860,000	740,000	△ 120,000	37口×20,000円
2.入会金収入	15,000	20,000	5,000	
会員	15,000	20,000	5,000	20名×1,000円
賛助会員	0	0	0	
3.事業収入	2,350,000	2,268,000	△ 82,000	
広告料	650,000	525,000	△ 125,000	会誌広告料
会場整理費	500,000	575,500	75,500	学会・研修会参加費など
精度管理事業費	100,000	146,000	46,000	精度管理参加費
助成金	1,100,000	1,021,500	△ 78,500	公益目的事業、生涯教育助成金
4.寄付金収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
5.雑収入	20	49,788	49,768	
預金利子	20	18	△ 2	
雑収入	0	49,770	49,770	
6.事務所維持、取得積立金収入	3,000,000	7,003,239	4,003,239	ゆうちょ定期貯金より繰入(利息3,239円含む)
当期収入合計	10,530,020	14,582,027		
7.前期繰越収入差額	2,873,603	2,873,603	0	
前期繰越収入差額	2,873,603	2,873,603	0	
収入合計	13,403,623	17,455,630	4,052,007	

支出 (単位:円)

科 目	4年度予算額	4年度決算額	増 減	備考
1.事業費	8,112,000	5,443,831	△ 2,668,169	
1)衛生思想の普及及び啓発				
(1)衛生思想普及啓発事業費	745,000	775,868	30,868	
会議費	30,000	0	△ 30,000	
活動費	695,000	663,352	△ 31,648	地区運営費
事務費	15,000	8,192	△ 6,808	
通信費	10,000	3,038	△ 6,962	
材料費	0	0	0	
研修費	630,000	640,985	10,985	70周年記念事業費、三区連携強化費
諸謝金	40,000	11,137	△ 28,863	
印刷費	10,000	0	△ 10,000	
雑費	10,000	112,516	102,516	タスクシフト講習会
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力				
(1)地域保健事業費	1,660,000	258,008	△ 1,401,992	
会議費	50,000	23,186	△ 26,814	
活動費	1,340,000	33,462	△ 1,306,538	全国検査と健康展
事務費	1,210,000	0	△ 1,210,000	保健事業連携強化費
通信費	10,000	4,654	△ 5,346	
材料費	100,000	28,808	△ 71,192	
研修費	10,000	0	△ 10,000	
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
講習会	100,000	113,300	13,300	
負担費	150,000	70,000	△ 80,000	関連団体協賛費 講習会補助
印刷費	10,000	0	△ 10,000	
雑費	10,000	18,060	8,060	
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析				
(1)精度管理事業費	1,218,000	1,233,816	15,816	
会議費	5,000	0	△ 5,000	
活動費	1,200,000	1,228,536	28,536	
事務費	40,000	42,819	2,819	
通信費	30,000	17,862	△ 12,138	
材料費	950,000	999,035	49,035	サーベイ試料
研修費	170,000	168,820	△ 1,180	精度管理報告会
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
印刷費	3,000	0	△ 3,000	
雑費	10,000	5,280	△ 4,720	

科 目	4年度予算額	4年度決算額	増 減	備考
4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動	2,864,000	1,647,625		
(1) 学術研究事業費	2,860,000	1,647,299	△ 1,212,701	
会議費	100,000	4,475	△ 95,525	学術部部門分野長会議
活動費	1,740,000	413,683	△ 1,326,317	部門分野活動費
事務費	1,300,000	29,683	△ 1,270,317	学術部門連携強化費
通信費	40,000	36,017	△ 3,983	
材料費	100,000	49,555	△ 50,445	
研修費	100,000	62,396	△ 37,604	
諸謝金	200,000	236,032	36,032	
学会費	1,000,000	1,211,604	211,604	県学会
印刷費	19,000	12,982	△ 6,018	
雑費	1,000	4,555	3,555	
(2) 生涯教育研修事業費	4,000	326	△ 3,674	
会議費	2,000	0	△ 2,000	
活動費	2,000	326	△ 1,674	
事務費	1,000	326	△ 674	
通信費	1,000	0	△ 1,000	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
5) 機関誌及び会報の発行				
(1) 会誌事業費	1,625,000	1,528,514	△ 96,486	
会議費	15,000	12,820	△ 2,180	
活動費	10,000	8,144	△ 1,856	
事務費	5,000	6,000	1,000	査読料
通信費	5,000	2,144	△ 2,856	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	1,600,000	1,507,550	△ 92,450	山形医学検査
雑費	0	0	0	
6) その他本会の目的を達成するために必要な事業				
2. 管理費	5,280,000	8,630,528	3,350,528	
給与手当	1,000,000	872,400	△ 127,600	事務員給与
福利厚生費	30,000	84,818	54,818	慶弔費、保険料等
会議費	250,000	391,565	141,565	三役会議、日臨技、東臨技、総会費
通信費	400,000	556,644	156,644	挨拶状、切手、郵送費、ネット使用料
災害システム構築費	20,000	0	△ 20,000	
業務委託費	20,000	0	△ 20,000	
印刷費	200,000	174,405	△ 25,595	技師会封筒、総会議案書等
交通費	1,100,000	1,487,170	387,170	理事会交通費他
顕彰費	80,000	41,716	△ 38,284	功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
広告宣伝費	70,000	66,547	△ 3,453	
消耗品費	30,000	9,735	△ 20,265	
事務費	30,000	3,057,401	3,027,401	PC購入費
支払手数料	10,000	9,130	△ 870	
ホームページ管理費	30,000	19,492	△ 10,508	
賃借料	2,000,000	1,812,000	△ 188,000	家賃(2部屋)・光熱費など
雑費	10,000	47,505	37,505	
3. 事務所維持、取得積立金支出	0	0	0	特別会計積立金
4. 備品購入積立支出	0	0	0	特別会計積立金
5. 予備費	11,623	0	△ 11,623	
予備費	11,623	0	△ 11,623	
支出合計	13,403,623	14,074,359	670,736	
当期収支差額	0	507,668	507,668	
支出合計	13,403,623	14,074,359	670,736	

一般会計正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	3,381,271		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		3,381,271	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
減少額合計		0	
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額			3,381,271
前期繰越正味財産額			0
期末正味財産合計額			3,381,271

一般会計貸借対照表 令和5年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,381,271		
流動資産合計		3,381,271	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,381,271
II. 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	0
III. 正味財産の部			
正味財産		3,381,271	
負債及び正味財産合計			3,381,271

一般会計財産目録 令和5年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	168		
銀行預金	3,381,103		
郵便振替口座	0		
流動資産合計		3,381,271	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,381,271
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金(山臨技会費・入会金、広告料)	0		
負債合計		0	
III. 正味財産の部			
正味財産		3,381,271	
負債及び正味財産合計			3,381,271

令和4年度特別会計決算報告

1. 事務所取得費、維持費の収入は預金利子である。支出は事務所設備費や電気、水道等の事務所経費と、定期預金の一部解約による一般会計への繰入金である。
2. 北日本支部学会山形県開催準備費の収入は貯金利子である。支出はない。
3. 備品購入積立金の収入は預金利子である。

特別会計収支計算書

事務所取得費、維持費収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I.収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	698	698	預金利子
当期収入合計(A)	0	698	698	
前期繰越収支差額	15,786,727	15,786,727	0	
収入合計(B)	15,786,727	15,787,425	698	
II.支出の部				
事務所維持支出	162,000	7,136,481	6,974,481	
当期支出合計(C)	162,000	7,136,481	6,974,481	
当期支出差額(A)-(C)	△162,000	△7,135,783	△6,973,783	
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,624,727	8,650,944	△6,973,783	

北日本支部学会山形県開催準備費収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I.収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	69	69	預金利子
当期収入合計(A)	0	69	69	
前期繰越収支差額	4,062,894	4,062,894	0	
収入合計(B)	4,062,894	4,062,963	69	
II.支出の部				
東北学会準備支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期収支差額(A)-(C)	0	69	69	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,062,894	4,062,963	69	

備品購入積立会計(パソコン・ワープロ等購入積立会計)収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I.収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	4	4	預金利子
当期収入合計(A)	0	4	4	
前期繰越収支差額	484,115	484,115	0	
収入合計(B)	484,115	484,119	4	
II.支出の部				
備品購入支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期支出差額(A)-(C)	0	4	4	
次期繰越収支差額(B)-(C)	484,115	484,119	4	

令和4年度事務所維持特別会計収支計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収 入 (単位：円)

科 目	4年度予算額	4年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	162,000	133,242	△ 28,758	
管理費				
維持費	162,000	133,242	△ 28,758	事務所維持費より
収 入 合 計	162,000	133,242	△ 28,758	

支 出 (単位：円)

科 目	4年度予算額	4年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	162,000	133,242	△ 28,758	
事務費	84,000	47,309	△ 36,691	
コピー印刷費	84,000	47,309	△ 36,691	7,000円×12ヶ月
光熱費	78,000	85,933	7,933	
水道	30,000	25,227	△ 4,773	2,500円×12ヶ月
電気	48,000	60,706	12,706	4,000円×12ヶ月
設備費	0	0	0	
事務所設備		0	0	
雑費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
支 出 合 計	162,000	133,242	△ 28,758	

事務所取得費、維持費正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	698		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		698	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	7,136,481		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		7,136,481	
当期正味財産減少額			7,135,783
前期繰越正味財産額			15,786,727
期末正味財産合計額			8,650,944

事務所取得費、維持費貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,650,944		
流動資産合計		8,650,944	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	2,433,775		
有形固定資産合計		2,433,775	
2) 無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		2,433,775	
資産合計			11,084,719
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債および正味財産合計			11,084,719

事務所取得費、維持費財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金			
定期預金	5,051,031		
労金	3,301,654		
ゆうちょ	298,259		
普通預金			
きらやか			
流動資産合計		8,650,944	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	2,433,775		
有形固定資産合計		2,433,775	
2) 無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		2,433,775	
資産合計			11,084,719
II. 負債の部			
流動負債	0		
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
			11,084,719

北日本支部学会山形県開催準備費正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	4,062,894		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		4,062,894	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産減少額			4,062,894
前期繰越正味財産額			69
期末正味財産合計額			4,062,963

北日本支部学会山形県開催準備費貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,062,963		
流動資産合計		4,062,963	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,062,963
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			4,062,963

北日本支部学会山形県開催準備費財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 荘内銀行定期預金	4,062,963		
流動資産合計		4,062,963	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,062,963
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,062,963

備品購入積立会計正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	4		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		4	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産減少額			4
前期繰越正味財産額			484,115
期末正味財産合計額			484,119

備品購入積立会計貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	484,119		
流動資産合計		484,119	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			484,119
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			484,119

備品購入積立会計財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 きらやか銀行	484,119		
流動資産合計		484,119	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			484,119
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			484,119

令和4年度備品台帳内訳明細書

機 器	メーカー	規 格	数 量	保管場所	購入年度	購入価格	耐用年数	償却方法	R4 償却費	R4 期末残高	備 考
A1 サイズプリンター	EPSON	SC-T3250	1	事務所	平成 29.10	208,980	5	定額法	31,346	1	
エアコン	三菱	MSZ-HXV71179	1	事務所	平成 30.1	334,800	6	定額法	55,912	55,240	
ノート PC	mouse	m-BookB504H	1	HP 委員会	平成 30.2	148,392	6	定額法	24,781	1,771	
ノート PC	NEC	PC-N1535EAL	14	各部門	令和 4.10	2,511,600	4	定額法	313,950	2,197,650	
ノート PC	NEC	PC-N1570EAL	1	各部門	令和 4.10	204,700	4	定額法	25,587	179,113	
合 計						3,408,472			451,576	2,433,775	

令和4年度監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会
代表理事 植木 哲也 殿

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果




- 一 事業報告については、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 5年 4月 25日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 小川 一弘 
監事 菊地 功祐 
監事 外山 士郎 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

代表理事 植木 哲也 殿

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容


理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。


2. 監査の結果


公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 5年 4月 25日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 小川 一三 

監事 菊地 功祐 

監事 外山 士郎 

第1号議案

令和5年度事業計画（案）

令和元年から始まった新型コロナウイルス感染症はこれまでに世界で約6億7千万人が感染し688万 명이死亡、我が国においても約3300万人が感染し7万3000 명이死亡する事態（2023年3月現在）となり、社会・経済活動に甚大な影響を及ぼしています。このような状況下、新型コロナウイルス感染症対策を施した活動4年目に突入しました。いよいよこの5月から今までの2類相当の位置づけから5類への引き下げが行われます。つまり季節性のインフルエンザと同等の扱いになることを示唆しています。油断できないところですが、いよいよ出口戦略が見えてきた感があります。このまま収束に向かうのか新たな変異株 XBB1・5 が猛威を振るい第9波が到来するのか現段階では神のみぞ知るところです。我々（一社）山形県臨床検査技師会（以下山臨技）も政府、国の動向に注視しながら柔軟な対応を行っていきます。

さて、我が国は少子高齢化、人口減少という困難に直面し、さらには高齢者が減少する2040年問題を見据えた検討が始まろうとしています。我々臨床検査技師も将来的に検査依頼件数減少、臨床検査技師の需要が減少するという予測もあるなかで、しっかりと地に足をつけ、どんな状況下にあっても620余名の会員からの付度に応えるべく山臨技活動を粛々とするのが我々執行部の使命です。具体的に山形県医学検査学会の開催（庄内・最上地区担当）、日臨技が策定している11月の臨床検査月間・全国一斉行動日に合わせた「検査と健康展」の開催、外部精度管理事業（コントロール・サーベイ）の実施、精度管理報告会開催が大きな事業の柱になります。さらに認証範囲が拡大された日臨技品質保証施設認証制度への参加施設拡充に向けた啓もう、厚労省指定タスクシフト講習会の効率的な開催（受講人数が定員に達しない等の理由で担当県が許可すれば県またぎが可能になりました。ひき続き山臨技独自で参加費助成を行ないます）、日臨技支部単位で開催している臨地実習指導者講習会（指導者の転勤、移動を考慮し受け入れ施設1名の縛りが取れる）への積極的な参加呼びかけ、北日本支部学会（令和5年11月4日（土）5日（日）福島市開催）への一般演題エントリー、座長推薦、一般会員の参加要請等、日臨技事業への協力も継続で行っていきます。

以下に各部、各委員会の事業計画（案）を別掲いたします。令和8年3月31日に変更認可を許可された公益目的支出計画に沿った予算（案）と合わせて慎重審議をお願いいたします。

庶務部

1. 技師会事業の円滑な遂行
他部門や各委員会と協力し、理事会・定期総会・学会の準備などを行う。
2. 技師会諸帳簿管理
各議事録や諸帳簿の管理を行う。
3. 一般社団法人としての管理
県と法務局に提出する必要書類の作成を行う。
4. 情報公開についての整備
 - 1) 山臨技ニュース等の情報の発信やホームページを利用した求人・求職などの情報提供を引き続き行う。
 - 2) 日臨技情報の発信を行う。
 - 3) 連盟情報の発信を行う。
5. 情報網の整備と充実
山臨技におけるメーリングリストの更なる充実と連絡網の整備を行う。
6. 事務所取得・管理に係わる情報収集
7. Web 会議等の情報収集

会計部

1. 法人会計の整備
法人会計として複式簿記による帳簿整理を行い、明確な会計処理をする。
2. 円滑な会計処理
各事業部、委員会、学術研究部門、事務所と連絡を取り合い、事業を円滑に進められるように努める。

学術部

1. 部門長・分野長合同会議の開催
部門長・分野長合同会議を開催し、学術部各部門への予算配分、研修会の要件、精度管理、生涯教育研修制度、山形医学検査、及び公益事業協力等について討議検討する。
2. 第 42 回山形県医学検査学会への取り組み
今年度、庄内地区担当で開催予定である。学会企画部会議を開催し学会の方向性を検討するとともに、学会運営部と連携し協力しながら種々の業務に取り組む。
3. 各部門・分野及び各委員会への事業支援
部門長・分野長と連携し、会員の皆様が参加しやすい研修会の開催を目指す。日臨技認定制度の認定更新指定研修会の登録申請も随時行う。
精度管理委員会・データ標準化委員会に協力する。
「山形医学検査」発行へ協力する。

4. 学術部主催研修会の開催

学術部主催の研修会を企画し、知識の糧となるような研修、技師同士の交流の場を提供し、仲間づくり、組織強化を目指す。

5. 学術部会議の開催

理事会終了後、必要に応じて随時開催する。

6. メーカー主催研修会への協力

メーカー主催で技師会共催または後援の研修会について、内容を吟味し理事会の承認を得たうえで協力する。

企 画 部

1. 全国「検査と健康展」の開催

日時、会場 未定

2. 他団体への協力

「山形医学検査」編集委員会

1. 編集委員会の開催

企画、編集作業など、年3回程度開催する。

2. 「山形医学検査」の発行

「山形医学検査」を年3回発行する。

学術機関紙としての役割を重視し、研究論文を多く掲載する。

3. 「山形医学検査」の発行予定

VOL. 32 No. 2 令和5年8月（会員名簿との合冊）

VOL. 32 No. 3 令和5年10月（第42回山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書との合冊）

VOL. 33 No. 1 令和6年2月

4. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行う。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加登録を行う。

2. 日臨技推進研修会の申請並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行う。

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

精度管理のさらなる向上を目的に継続的なコントロール・サーベイを実施する。

コントロール・サーベイを通し、県内各施設または会員一人一人の高いレベルでの標準化に寄与する。主な事業計画は以下の通りである。

令和5年5月12日	コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り
7月上旬	サーベイ試料・フォトサーベイ CD 発送作業
7月中旬	サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間は例年同様入力期日を厳正に設定する)
令和5年7月～9月	サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む)
令和5年10月	コントロール・サーベイ施設別報告書 (総括・統計) JAMTQC 上で開示 精度管理報告書発行
令和5年12月上旬	精度管理報告会開催 会場：未定
令和6年2月	令和6年度 JAMTQC 使用申請
令和6年4月	令和5年度コントロール・サーベイ参加申し込み案内

2. データ標準化事業

品質保障施設認証を新規申請する施設の拡大に努める。

品質保証施設認証制度の啓蒙と申請拡大に努める。

共用基準範囲の採用施設拡大に努める。

ホームページ委員会

1. 会員の方々に情報源として活用され、利用しやすいホームページ制作を行う。
2. 各部門、各団体と連携しホームページによる情報発信を行う。
3. 臨床検査技師の地位向上に役立つような情報発信を行う。
4. 災害の非常連絡網としてのあり方を検討する。

第2号議案

令和5年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案）

（収入の部）

1. 会費収入

会員会費 615 名で計算した。

賛助会員費 43 社で計算した。

2. 入会金収入

入会金収入は昨年度並みとした。

3. 事業収入

広告料：令和4年度決算を参考とした。

会場整理費：過去数年分の決算を参考にした。

精度管理事業：令和4年度決算を参考にした。

助成金：令和4年度日臨技助成金をもとに算出した。

4. 寄付金収入

見込まない。

5. 雑収入

預金利子：昨年度並みとした

6. 事務所維持、取得積立金収入

特別会計から備品購入、北日本学会準備金を繰り入れた。

（支出の部）

1. 事業費

各部、各委員会の事業計画と過去数年分の決算を参考に、予算内で割り振りを行った。

2. 管理費

令和4年度決算を参考にした。

会計士への一部業務委託費を計上した。

3. 予備費

事業費、管理費が不足した際、またその他必要時に用いる。

令和5年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会予算(案)

収入額 11,411,291 円 自 令和5年4月1日
 支出額 11,411,291 円 至 令和6年3月31日
 差引額 0 円

収入

(単位:円)

科 目	4年度予算額	5年度予算額	増 減	備考
1.会費収入	5,165,000	5,165,000	0	
会員	4,305,000	4,305,000	0	615名×7,000円
賛助会員	860,000	860,000	0	43口×20,000円
2.入会金収入	15,000	15,000	0	15名×1,000円
会員	15,000	15,000	0	
賛助会員	0	0	0	
3.事業収入	2,350,000	2,350,000	0	
広告料	650,000	650,000	0	会誌広告料
会場整理費	500,000	500,000	0	学会・研修会参加費等
精度管理事業費	100,000	100,000	0	精度管理参加費
助成金	1,100,000	1,100,000	0	公益目的事業、生涯教育助成金
4.寄付金収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
5.雑収入	20	20	0	
預金利子	20	20	0	
雑収入	0	0	0	
6.事務所維持、取得積立金収入	3,000,000	500,000	△ 2,500,000	特別会計積立金より繰入
当期収入合計	10,530,020	8,030,020	△ 2,500,000	
7.前期繰越収入差額	2,873,603	3,381,271	507,668	
前期繰越収入差額	2,873,603	3,381,271	507,668	
収入合計	13,403,623	11,411,291	△ 1,992,332	

支出

(単位:円)

科 目	4年度予算額	5年度予算額	増 減	備考
1.事業費	8,112,000	5,962,000	△ 2,150,000	
1)衛生思想の普及及び啓発	745,000	245,000	△ 500,000	
(1)衛生思想普及啓発事業費	745,000	245,000	△ 500,000	
会議費	30,000	30,000	0	
活動費	695,000	195,000	△ 500,000	地区運営費
事務費	15,000	15,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	630,000	130,000	△ 500,000	三地区連携強化費
諸謝金	40,000	40,000	0	
印刷費	10,000	10,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力	1,660,000	610,000	△ 1,050,000	
(1)地域保健事業費	1,660,000	610,000	△ 1,050,000	
会議費	50,000	50,000	0	
活動費	1,340,000	340,000	△ 1,000,000	全国検査と健康展
事務費	1,210,000	210,000	△ 1,000,000	
通信費	10,000	10,000	0	
材料費	100,000	100,000	0	
研修費	10,000	10,000	0	
諸謝金	10,000	10,000	0	
講習会負担費	100,000	100,000	0	
印刷費	150,000	100,000	△ 50,000	関連団体協賛費
印刷費	10,000	10,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析	1,218,000	1,268,000	50,000	
(1)精度管理事業費	1,218,000	1,268,000	50,000	
会議費	5,000	5,000	0	
活動費	1,200,000	1,250,000	50,000	
事務費	40,000	40,000	0	
通信費	30,000	30,000	0	
材料費	950,000	1,000,000	50,000	サーベイ試料
研修費	170,000	170,000	0	精度管理報告会
諸謝金	10,000	10,000	0	
印刷費	3,000	3,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	

科 目	4年度予算額	5年度予算額	増減	備考
4)臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動	2,864,000	2,014,000	△ 850,000	
(1)学術研究事業費	2,860,000	1,910,000	△ 950,000	
会議費	100,000	100,000	0	学術部部門分野長会議
活動費	1,740,000	790,000	△ 950,000	部門分野活動費
事務費	1,300,000	300,000	△ 1,000,000	
通信費	40,000	40,000	0	
材料費	100,000	100,000	0	
研修費	100,000	150,000	50,000	
諸謝金	200,000	200,000	0	
学会費	1,000,000	1,000,000	0	県学会
印刷費	19,000	19,000	0	
雑費	1,000	1,000	0	
(2)生涯教育研修事業費	4,000	104,000	100,000	
会議費	2,000	2,000	0	
活動費	2,000	102,000	100,000	
事務費	1,000	1,000	0	
通信費	1,000	1,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	0	80,000	80,000	タスクシフト講習会会費補助
諸謝金	0	20,000	20,000	タスクシフト実務委員
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
5)機関誌及び会報の発行	1,625,000	1,825,000	200,000	
(1)会誌事業費	1,625,000	1,825,000	200,000	
会議費	15,000	15,000	0	
活動費	10,000	10,000	0	
事務費	5,000	5,000	0	査読料
通信費	5,000	5,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	1,600,000	1,800,000	200,000	山形医学検査
雑費	0	0	0	
6)その他本会の目的を達成するために必要な事業	0	0	0	
2.管理費	5,280,000	5,440,000	160,000	
給与手当	1,000,000	1,000,000	0	事務員給与
福利厚生費	30,000	30,000	0	慶弔費、保険料等
会議費	250,000	250,000	0	三役会議、日臨技、東臨技、総会費
通信費	400,000	500,000	100,000	切手、郵送費、ネット、Zoom使用料
災害システム構築費	20,000	20,000	0	
業務委託費	20,000	420,000	400,000	会計業務の一部委託
印刷費	200,000	200,000	0	技師会封筒、総会議案書等
交通費	1,100,000	760,000	△ 340,000	理事会交通費他
顕彰費	80,000	80,000	0	功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
広告宣伝費	70,000	70,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	
事務費	30,000	30,000	0	
支払手数料	10,000	10,000	0	
ホームページ管理費	30,000	30,000	0	
賃借料	2,000,000	2,000,000	0	家賃(2部屋)・光熱費など
雑費	10,000	10,000	0	
3.事務所維持、取得積立金支出	0	0	0	特別会計積立金
4.備品購入積立支出	0	0	0	特別会計積立金
5.予備費	11,623	9,291	△ 2,332	
予備費	11,623	9,291	△ 2,332	
支出合計	13,403,623	11,411,291	△ 1,992,332	
当期収支差額	0	0	0	
支出合計	13,403,623	11,411,291	△ 1,992,332	

第3号議案

令和5・6年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案）

名前	施設名
武田 和子	山形県立中央病院
安孫子 浩	寒河江市立病院
吉澤 哉	山形徳洲会病院
齋藤 裕紀	日本海総合病院
五十嵐 由美	公立置賜長井病院

第4号議案

その他

公開講演

「 科学的根拠に基づいた食情報データを活用した
疾病予防 」

山形県立保健医療大学 保健医療学部

教授 石川 仁 先生

司会：一般社団法人山形県臨床検査技師会

会長 植木 哲也

